



中野区立平和の森小学校

校長室だより

令和4年1月26日 No.11

中野区立平和の森小学校

校長 武智 直貴

年が明け、最初の校長室だよりです。あらためまして、本年もよろしくお願いいたします。

さて、ここところ一気にコロナ感染が拡大し、本校でもひとクラス学級閉鎖の対応を取らせていただいているのは、これまでお知らせしている通りです。区内小中学校でも日々陽性者が増えつつあり、複数の学校で学級閉鎖が出てきております。当面の対応として、以下に現在の判断基準や、感染拡大防止のために各ご家庭にあらためてお願いしたいことを記します。

新型コロナウイルスへの対応につきまして

感染拡大に伴い、保健所を介しての濃厚接触者の特定等が迅速に行えないことから、中野区では保健所による対応が変更となり、濃厚接触者について、以下の定義をもとに、全児童について各施設で行うこととなりました。

陽性者の発症の2日前から現在までの間に、下記①または②の状況に該当する者

- ① 陽性者と長時間の接触(同居、車内等)があった者
- ② 1m以内の距離で必要な感染予防策をとらずに(マスク等をせずに)、陽性者と15分以上接触した者

また、学級閉鎖の基準については、

- ① 同一の学級において、関連する複数の児童生徒等の感染が判明した場合
- ② 同一の学級において、感染者が一人であっても、周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる場合
- ③ 同一の学級において、一人の感染者が判明し、関連する複数名の濃厚接触者が特定された場合
- ④ その他、教育委員会で必要と判断した場合

となっています。この場合の閉鎖期間は、5～7日程度を目安としています。保健所の介入が難しくなった今、これらを判断する際には、学校医及び教育委員会と連携して行います。

現在、校内で複数名の陽性者が出ていますが、上記の基準により、学級閉鎖の措置をとる状況に該当したのはひとクラスです。しかしながら、感染状況が落ち着くまでは、日々これらをもとに対応していく必要があります。今後の対応として、学校では引き続きこれまで同様の感染防止策を徹底して教育活動を進めてまいります。各ご家庭に特にお願いしたいことは、以下の2点です。

- * 日々の健康観察を、これまで以上に念入りに行い、体調チェック表への記入、持参をお願いいたします。毎日平均で20名前後の児童が体調チェックを忘れ、朝、保健室前に並ぶ状況があります。
- * 学校外での行動において、これまでは保健所が陽性者から聞き取りをし、濃厚接触にあたる疑いがある人に対して保健所から連絡がされていましたが、今後は陽性者の家庭から該当者に対し情報提供をしていただく必要があります。上記の濃厚接触者の基準をもとに、よろしくお願いいたします。

これまでの状況を見ると、一概には言えませんが、陽性児童の多くの場合、①急な発熱症状、②濃厚接触からの潜伏期間は2～5日、③発症から1～2日で症状が治まってくる という傾向があるように思います。受診した医院から検査の結果が保健所に報告され、保健所からあらためて自粛期間を指示されることもあるようですが、そうでない場合は主治医の指示に従うとともに、このような傾向をもとに自粛期間を判断していただけると有り難いです。また、ご家族にPCR検査や抗原検査等を受ける状況がある時は、念のための登校自粛にご協力いただければと思います。

6年生の受験日直前でもあり、当面は上記のことをもとに学校として対応を進めてまいります。ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

お願い…「給食当番の白衣について」

現在、給食当番が着用している「白衣」は、毎週当番を担当したご家庭に洗濯をお願いしており、ご協力いただいていることに御礼を申し上げます。以下の点について、あらためてご協力をお願いさせていただきます。

- ①ボタンが取れた時や多少のほつれは、できる範囲で直していただけると幸いです。直せないような時は、いくつか予備がありますので、担任にお伝えください。
- ②強い香りを苦手とするお子さんもあり、香料の強い柔軟剤等のご使用についてご配慮いただくと有り難いです。

